

各位

海洋博公園管理センター

空飛ぶ種子 グライダーのモデルになった ハネフクベ（別名ヒョウタンカズラ） 3年連続で種子の飛ぶ姿が見られます！

海洋博公園 熱帯ドリームセンターでは、令和4年に国内初結実を記録したハネフクベ（別名ヒョウタンカズラ）が今年も4個結実し、3年連続の結実に成功しました。

現在、4個の果実（裂果3個、未熟果1個）が、果樹温室にてご覧いただけます。

ハネフクベは翼がついた種子がグライダーのモデルになったことで有名な植物です。開花可能な高さを有し、かつ雌雄株そろって植栽している施設が少ないため、国内で結実に成功しているのはこれまで当館のみです。

熟した果実の中には翼がついた種子が数百個あるとされ、高い位置で割れた果実から滑空していく、その姿はグライダーの形そのものです。

■ポイント■

- ・東南アジア等の熱帯雨林の密集した木の中で広い範囲に種子を飛ばすため、高い位置で開花させる必要がある。
- ・沖縄は熱帯雨林に近い温暖な環境にあり、また、熱帯ドリームセンターでは高い屋根のある温室を有しているため、開花させるには好条件である。
- ・令和元年に結実に向けた取り組みとして雌株を植栽し、令和4年に初開花、人工交配によって初結実を記録。3年連続となる今年は4個結実に成功した。
- ・熱帯ドリームセンター 果樹温室で植栽しています。
- ・観察ツアーでは種子を飛ばす体験もできます

（観察ツアー開催日時：毎週土曜日 15：00～）

【ハネフクベ（ヒョウタンカズラ）】 《科名》ウリ科 《学名》*Alsomitra macrocarpa*

インドネシアやマレーシアが原産で雌雄異株のツル性植物です。原産地では他の木に絡みつき30mの高さまで這い上ります。生息範囲を広げるため、種子に翼をつけ、高い位置から種子を空中に放つことで遠くまで飛ばすという進化を遂げました。翼は世界最大といわれており、航空力学的にも優れた構造をしていることが分かっています。



結実した雌株の様子



ハネフクベの種子



割れた果実の中の様子

<お問い合わせ先>

《植物について》 海洋博公園管理センター 植物課 熱帯ドリームセンター係

TEL 0980-48-3624 / FAX 0980-48-3785

《取材・資料貸出について》 海洋博公園管理センター 企画運営課 イベント・広報係

TEL 0980-48-2741 / FAX 0980-48-3339